



## 目次

◆ブロックからのお知らせ..... 1	いて..... 6
■第43回日本野鳥の会関東ブロック協議会 総会報告..... 1	■「彫刻家・村田勝四郎と日本野鳥の会」が始まりました..... 6
■2019年度九州・沖縄ブロック協議会報告..... 4	■会員数..... 7
◆事務局からのお知らせなど..... 5	■新型コロナウイルスに関連した探鳥会等の中止または延期のお願い..... 8
■ワイルドバード・カレンダー2021 写真募集中.. 5	
■新入会の方に送る「支部のご案内」のご確認をお願いしています。..... 5	
■電信振替（ゆうちょ口座間送金）の料金改定につ	

## ◆ブロックからのお知らせ

### ■第43回日本野鳥の会関東ブロック協議会 総会報告

【開催日】：2019年9月28日（土）～29日（日）  
 【開催場所】：犬吠崎ホテル（千葉県銚子市）  
 【担当支部】：日本野鳥の会千葉県  
 【参加連携団体・参加者】：9支部  
 （日本野鳥の会神奈川支部2名、日本野鳥の会茨城県5名、日本野鳥の会栃木県支部1名、日本野鳥の会吾妻2名、日本野鳥の会埼玉2名、日本野鳥の会奥多摩支部2名、日本野鳥の会東京1名、日本野鳥の会群馬3名、日本野鳥の会千葉県16名）  
 財団（五反田事務所2名）  
 合計36名

#### 【スケジュール】

9月28日（土）  
 12:30-13:00 受付  
 13:00-13:10 事務連絡・開会宣言・担当団体挨拶（千葉県志村会長）  
 13:10-13:15 来賓挨拶（公財）日本野鳥の会（狩野副理事長）  
 14:30-17:00 <各団体近況報告>  
 <財団本部からの近況報告>  
 <提案議題の協議>  
 ・熱中症危険度に応じた探鳥会の開催について  
 ・個人情報管理について  
 18:00-20:00 <夕食・懇親会>  
 9月29日（日）  
 6:30-8:00 <犬吠崎・君ヶ浜周辺の探鳥>  
 8:15-9:00 朝食  
 9:30-11:00 <提案議題の協議>  
 ・各団体で実施している調査・保護活動について

11:30 記念撮影後、解散

#### 【議事録】

<各団体近況報告>

#### ●日本野鳥の会茨城県（石井会長）

会員数の減少と幹事の高齢化問題のため開始した財団本部との共催による「初心者向けバードウォッチング」は5年目を迎えるが、お試し会員から本部会員への移行は少ない。ハス田における鳥類の羅網被害を改善すべく、これまで知事あてに度重なる陳情を行ってきたが進展が見られなかったため、法的処理義務のある請願書の提出を試みた。結果15,927筆の署名を集めることに成功し、「ハス田防鳥網に関する請願」を県議会事務局に提出した。3月25日付、7月2日付で継続審査となっている。蓮田周辺に強烈な反対をしている議員がいる。現在は猛禽類調査など8件の受託事業があるが、減少すれば現行会費での支部運営は難しい。対策として、会報のPDF配信により、発送費の減少を期待している。

#### ●日本野鳥の会栃木県支部（手塚副支部長）

探鳥会の非会員の参加費を2019年4月より200円から300円に値上げしたが、参加者数は減少しなかった。会員の参加費は100円なので、会員になることに優位性がある。年に19回開催している初心者向け探鳥会当日の入会者が、1.8人から2.4人に増加し、会員数も微増した。初心者向け探鳥会の受付時の入会者は探鳥会未経験である。にもかかわらず、受付時の入会者が増加したのは、非会員の参加費の方が高い為、最初から会員になっていた方がお得だという意識だと考えられる。「会員になった方が参加費がお得です」という情報はHPに掲載している。2000年の会費制度改正前に入会し、本部への登録をしていなかった「支部のみ会員」を廃止した。

#### ●日本野鳥の会吾妻（中澤代表）

探鳥会に双眼鏡を持たず、カメラだけしか持ってこない参加者に、鳥を見る面白さ・大切さを気付いても

らうにはどうしたら良いかを考えている。協賛行事として、観光協会、ジオパーク協議会の探鳥会に協力している。県が稜線トレイルなどのアウトドアスポーツに力を入れており、静かに野鳥を見たいと思っても、横を大勢の人たちが駆け抜けていく状況や、森林を切り開き、大規模な太陽光発電所が建設されている状況があり、これらが野鳥の生息に影響があるのかを掴むために、どういう調査をしたら良いかを検討している。

#### ●日本野鳥の会埼玉（小林副代表）

20～30代の会員が特に増えており、2015年から始めたヤング探鳥会のおかげではと考えている。ビギナー探鳥会も行っており、昨年まで年間5回前後だったが、今年から秋から冬にもっと回数を増やす予定。申込制で1回15人限定、リーダー3人で徹底的に鳥を観察し、興味を持ってもらい、また日本野鳥の会についても詳しく話し、入会者を増やそうという主旨で行っている。夏、熱中症の警戒レベルの予報が出たため、探鳥会を1回休みにした。また室内会を2回企画し、1回は鳥の羽についての勉強会で、約50名が集まり盛会だった。もう1回は鳥の消しゴム判子のクラフト教室で、人数限定で17～18人で実施し、作品を作って持ち帰ってもらい、大変好評だった。秋は、さいたま市のフェスティバルに消しゴム判子を出店し、鳥の楽しさを別の形で知ってもらおうと考えている。

#### ●日本野鳥の会奥多摩支部（蒲谷副支部長）

会員は650名前後で推移しているが、高齢で退会される方が新たに入会される方よりもやや上回り、減少傾向。山岳域が含まれるので、奥多摩支部の特徴的な活動として登山探鳥会を実施している。海なし支部なので、秋のシギドリ類を見る為に、会報で東京と千葉県探鳥会を紹介させていただいた。遠出のバスツアーとして、奥日光、北八ヶ岳、富士川河口、涸沼・大洗・銚子の4回を企画した。会員を増やすのも必要だが、経費を削減するのも1つの方法であり、経費がかかっている支部報の印刷と発送を見直そうと考えている。また、楽しい探鳥会にすることが会員を増やす近道と考え、スタッフとサブスタッフを充実させていくことが課題だと考えている。

#### ●日本野鳥の会東京（石亀副代表）

非会員の方に配っている「探鳥会に行こう」という小冊子は、月例探鳥会に来てもらえて、野鳥を好きになってもらえるところには結びついていないが、入会にはなかなか結びついていない。非会員向けに「お試し入会必須」のイベントを行い、2018年は6回開催し、138組にお試し入会をしていただいた。2019年は8回開催予定。2018年度はメールでの参加を受け付けたが、応募が殺到し、2019年度からはWEBのフォーマットからの受付のみとした。お試し入会でも、正式入会でも、安売りする必要はないように感じた。お試し入会を正式入会に繋げるフォローとして、メールマガジンを発行している。探鳥会で、お試し入会はしたが本入会していない方を識別し、手厚くサポートするために「お試し入会者判別缶バッジ」を作成・販売した。お試し入会者から正式入会に至った割合は現在約25%である。

#### ●日本野鳥の会群馬（浅川代表）

会員の高齢化、減少は深刻な問題。ここ10年は1年間で約20名の新入会者に対し、倍程度の退会者がいるので食い止めたい。探鳥会の参加者の3割が非会員なので、これらの方々に会員になっていただこうと考えている。1年間入金免除のキャンペーンを行っており、今後どれくらいの効果があるかを調べ、この先どうしようかを考えたい。これまでお試し会員になってくれた31名に対し、お試し会員だけの探鳥会を企画している。会報の電子化を検討中だが、拡散して配信されないか懸念がある。この問題がクリアできれば、来年から電子化を望む会員の希望に沿いたいと考えている。2012年群馬県の鳥類目録を作ったが、まもなく10年が経つので改訂作業を行っている。モニ1000研修会の開催県になっているので参加をお願いしたい。

#### ●日本野鳥の会千葉県（橋本副会長）

会員が今年に入って1000人を切った。毎年ほぼ4%の会員が減っている。お試し入会を毎回の探鳥会で紹介して勧誘している。これまで150人以上がお試し会員になり、約3割に正会員になっていただいたが、追いついていない状況。探鳥会は年100回程度行い、参加者は約1800人で、参加者数はそんなに減っていない。いかに会員を増やすかが悩みになっている。支部の年間行事として、ジャパンバードフェスティバルを主宰している。また、小櫃川河口干潟で干潟クリーン作戦を、地方の団体と一緒にやっている。繁殖分布調査で千葉県にあった61コースは、3コースを残すのみとなった。

#### ●日本野鳥の会神奈川支部（小松運営幹事）

最盛期4000人の会員が、現在2000人を割っている。入会者はいるが、毎年差し引き約100人が退会していた。会員減を食い止めるべく、支部の中に会員増プロジェクトチームを4名で発足させた。ビギナー探鳥会をこれまでの年2回から10回以上に増やし、結果、差し引きの退会者が年30人にまで減少した。お試し入会者の退会理由を聞くと、「難解な支部報が送られて来るから」「行きやすい探鳥会がなかったから」等であった。そこで、支部報でひな鳥会員の為の半ページの記事を開始、またビギナー探鳥会通信という記事を増やし、お試し会員に当事者意識を持っていただけるようにした。本部主導で行っているビギナー探鳥会の他にも、支部報に載るビギナー探鳥会を増やすようにした。探鳥会以外に、支部事務所でビギナー談話室を3回開催し、毎回約20名の参加者がある。1000円を支払ってお試し会員になった後、正会員になって下さった方には、入会金1000円は支部で負担することにした。お試し会員に6回送る支部報に、回を追うごとに段階を踏んだメッセージを同封して入会を促している。お試し会員になって下さった方にはカルガモのヒナの缶バッジを、その後正会員になって下さった方にはカルガモの缶バッジを進呈し、感謝の気持ちを表している。これらのバッジは好評を得られている。5年会員を続けた方はその後ずっと会員でいて下さるため、5年間の目標になるようなものを設定するために、おすすめ野鳥50種と神奈川の探鳥地50選を1つにしたビギナーズ50という冊子を作成中である。これをお試し会員から正会員になって下さった方にお配りし、5年間の継続を促そうとしている。会費の自動引き落としになっていない会員

が、更新を忘れて退会になってしまったという方が多いのではと調べており、自動引き落としに移行していただけるように準備をしている。有志で「おさんば鳥図鑑」リーフレット設置隊を作り、地元のいろんな所に設置していただいている。幹事しか主催できなかった探鳥会を、ビギナーズ探鳥会に限ってはリーダーも主催できるように制度を改定した。新リーダーが企画した新しい発想の探鳥会をやってもらおうと考えている。

<財団本部からの近況報告>

●近況報告（狩野副理事長）

会員数は最大が2000年の5万4千人、現在は3万4千人で、全盛期より2万人減少。ご購入やご寄付をして下さったサポーターが約1万6千人。当会は計約5万人の方々から支持をされている。会員の平均年齢は63.4歳。男女比は、以前は男性:女性が7:3だったが、現在は6:4で、女性の割合が増加している。男女別の平均年齢は、男性61.7歳、女性64.2歳で女性の方がやや高い。平均会員歴は長く16.8年。会員歴の短い方の出入りが多い。なお、若い世代の会員が増えているという神奈川県と栃木県支部の報告について、引き続きの努力をお願いしたいと思っている、と意見が述べられた。

●モニ1000 陸生鳥類調査研修会へのお誘い（菅野 自然保護室）

日本野鳥の会の会員の平均年齢の高齢化と同じく、モニタリングサイト1000 陸生鳥類調査の調査員の平均年齢も上昇しており、次世代の調査員の育成が急務である。その育成の場であり、現役の調査員同士の交流の場として、モニタリングサイト1000 陸生鳥類調査の研修会を毎年開催している。今回は交通の便の良い場所に研修会場を設置したので、開催県以外にお住まいの方も参加をお願いしたい。特に、植生調査に苦手意識を持たれてこれまで調査員を辞退されてきた方は、実際は非常に平易で、植物の知識を必要としない調査なので、是非研修会にいらしていただき、苦手意識を払拭して、調査員としてご活躍いただきたいと願っている。今年度は、東京、群馬、愛媛で開催予定。群馬会場、愛媛会場はまだ人数に余裕があるのでご参加をご検討願いたい。

<提案議題の協議>

▲熱中症危険度に応じた探鳥会の開催について（奥多摩支部提案）

提案理由：今年8月の猛暑を踏まえ、来年の課題として、熱中症危険度指数に応じた探鳥会開催についての基準を定めたいと考えており、各団体の取り組み状況、考え方を聴取したい。

【茨城県・群馬】現状ではリーダー・担当者の判断で対応している。

【栃木県支部】「リーダーの手引き」を作っており、そこには天候変化や現況によっては臨機応変に対応する、と書かれている。研修会の中では、暑さが厳しい場合は終了時間を早める等の対応をして下さいという話はあるが、具体的な指標は作っていない。

【吾妻】8月は探鳥会がないので熱中症対策への検討はないが、リスクマネジメントとして、ツツガムシ・マ

ダ二等への対応は考えている。

【埼玉】前日の暑さ指数が危険になったら基本的に中止。昨年2回、今年1回の中止実績あり。中止する場合は前日にHPやFacebookで通知をしている。

【東京】シギドリ類の探鳥会は8月がメインであり、一律に中止するという議論は起きなかった。冷房が完備されている施設に逃げ込むなど、リスクをカバーしながら開催するという意見も多かった。

【千葉県】色々検討しているが、ガイドラインとしては載せていない。

【財団本部】日射病と食中毒が保険対象になる保険を導入する方向で進んでいる。

▲個人情報管理について（埼玉提案）

提案理由：参加者名簿の取り扱いや、会報・HP・SNS等の広報媒体について、各団体の取り組み状況、考え方を聴取したい。

【神奈川支部】会員名簿は事務所で事務の方が管理しており外に出る危険性は低い。探鳥会の参加者名簿は、一部、住所などの連絡先を標記してもらう名簿を使っていたが、現在は名前と会員・非会員の区別のみに変更済み。

【茨城県】会員名簿は会長と副会長の2名で管理。探鳥会の参加者名簿は、リーダーに預け、その後リーダーが編集担当に渡し、編集担当が1年で処分。探鳥会奨励賞というのを設けているため、探鳥会参加者は支部報にフルネームで記載している。

【栃木県支部】会員名簿は事務所内の本棚に置いており事務所の鍵はかけるが金庫には入れてない。探鳥会の参加者名簿も探鳥会中に車の中に鍵をかけて保存した事もあるかと思う。財団本部の個人情報保護チェックリストでは50項目中17項目しかOKとならず、非常に危ない状況なので、改めて今後対応していく。

【吾妻】会員名簿は副代表と会計と書記が連携して管理。探鳥会の参加者名簿は、名前と、会員であれば丸をつけるのみの名簿。探鳥会後は書記に集約させている。年1回の会報には参加者のフルネームを載せている。会員には会報に名前が載る事を喜ぶ方もいるので続けている。

【奥多摩支部】参加者名簿は保険で使うため、郵送か手渡しで事務局に集約し、メールでの送付はしない。泊りでの探鳥会等では詳しい情報も収集し、担当者のみパスワードをかけてメールで送信している。議論はあったが会報にフルネームを載せている。昔からの会員の方は、参加者名簿に載っていることが嬉しいという声が多かった。匿名希望を受け付けているが、希望される方は一般参加の方だけだった。

【東京】支部として500名前後の個人情報を持っている。財団本部の個人情報保護チェックリストと照らし合わせると、運用が難しい部署も出てきているので、どのような対応していけば良いか詰めているところである。支部報に参加者の名前は掲載していない。ネットで写真を掲載する際は参加者の許可を得ている。

【群馬】会員名簿はネットに繋がっていないパソコンで、探鳥会の参加者名簿は事務局で管理。群馬は分会制度を取り入れていて、支部報には分会の担当者の住所と名前と電話番号を載せているが、個人情報保護法に引っかかるか気にしている。会報の電子配信を行いたいが、会員外への拡散が防げるかが気になっている。

【千葉県】会員名簿のハードコピーは事務所の金庫に保存し、更に事務所の会員管理担当が電子ファイルで持っているが、財団本部の個人情報保護チェックリストのどこまでできているかは疑問が残る。探鳥会の参加者名簿は、会員か非会員かの区別、氏名、非会員は番地前迄の住所を記入。探鳥会終了後、担当幹事が郵送か手渡しで事務所に届け、探鳥会名簿ファイルに保存している。保険に必要な書類なので破棄はしていない。会報に参加者の名前は載せていない。ブログに探鳥会の様子を載せているが極力参加者の顔が写らないように配慮している。

【埼玉】会報に探鳥会の参加者は載せていないが、調査に協力してくれた方の名前は載せている。

#### ▲各団体で実施している調査・保護活動について（千葉県提案）

提案理由：各団体で実施している調査・保護活動について、その実情や問題点について、各団体の状況を伺いたい。

【千葉県】（調査）利根川河川敷で、オオセッカを1996年以降、コジュリンを2015年以降、継続して個体数カウント実施。両種の個体数の減少に対し、国交省利根川河川下流事務所などと定期的に対応を協議。友好関係にあるNPO法人野鳥千葉が、東京湾三番瀬の鳥類調査を千葉県より受託して継続して実施。

（保護）コアジサシコロニーの保護、第二湾岸道路建設問題、銚子沖や九十九里浜沖の風力発電計画問題、大規模ソーラーパネル問題に取り組んでいる。

【神奈川支部】（調査）ガンカモ調査を年1回実施。センサス調査を約50か所実施し記録を冊子にまとめている。神奈川県の鳥類目録を2019年度中にCD版で出す予定。

【茨城県】（調査）防鳥ネット被害調査など自主調査7件、県生物多様性センター糞便調査など委託調査10件を実施。

【栃木県支部】（調査）県内の野鳥情報を収集。また、会員の観察状況をもとに報告書を毎年発行。調査を担当できるスタッフが少ないため、スタッフ育成が課題。

（保護）懸案となる案件に対し、必要に応じ適時対応。最近では野鳥撮影のマナーの悪さが散見されるため、啓発用のチラシを作成中。

【吾妻】（調査）冬のガンカモハクチョウ類の調査を独自に実施。3年に1度、嬭恋村のツバメとイワツバメの巣の調査を実施。

【埼玉】（調査）シギチドリ類の調査を春秋1回ずつ、タカの渡り調査を県内2か所で秋に1回、冬のガンカモ類を独自に実施。HPでシギチドリ類の情報とタカの渡り情報を募集し、県内のシギチドリ類の状況やタカの動きがかなり掴めるようになった。

（保護）組織的に行っている事はないが、鳥獣保護員3名を埼玉から推薦している。

【奥多摩支部】（調査）タカの渡り調査など3件を実施。参加者も多く普及の意味合いも強くなっているが、担当が少なく、一部の人の力に頼っている。

（保護）羽村堰下の多摩川河川敷、狭山丘陵で保全活動を実施。

【東京】（調査）都内の野鳥情報を収集し会報に掲載。調査スタッフが少なく継続的なスタッフ育成が必要。

（保護）葛西臨海公園のラムサール条約登録活動やワイズユースを意識した活動。

【群馬】（調査）県より鳥類生息密度調査、カワウのねぐらコロニー調査を受託。調査員の高齢化が問題。

（保護）個別事案ごとに対応。

#### ▲関東ブロックにおける「リーダーズフォーラム」開催の検討について（栃木県支部・手塚副支部長、日本野鳥の会埼玉・小林副代表提案）

提案理由：財団主催の「探鳥会リーダーズフォーラム」の本年度開催が見送りになったことで、各支部の実務担当レベルのリーダーの情報共有や、リーダーのスキルアップの場がなくなった。このことから、当該フォーラムに代わる研修会を関東ブロックとして開催することについて検討していきたい。（自由討論形式で行った）

（東京・石亀副代表）リーダーズフォーラムが見送りになったのは残念。次世代を育てる必要があるが、遠方でリーダーズフォーラムがあると行き辛い面もある。関東ブロックの中でやる、集まりやすい東京でやるのは意義があると思う。関東ブロック協議会とリーダーズフォーラム関東の1年おき実施を検討してはどうか。東京支部では若手のリーダーの勉強会である東京リーダーズフォーラムを開催し、新しいリーダーたちが勉強したいと参加してくれている。支部内だけでなく、関東ブロックの横のつながりも持っていきたい。

（奥多摩支部・蒲谷副代表）支部のスタッフ研修会をやっているが出席者はあまり変わらない。若い人達が集まって事例報告をしあえるようになると良い。費用を捻出できれば、できるだけ若い人を送り込みたい。

（神奈川支部・小松運営幹事）2020年度に福井県でリーダーズフォーラムを開催予定と聞いた。若い方々を掘り起こして育てていかないと支部は縮小する。次回の関東ブロックでは、ブロック協議会と若い世代のリーダーズフォーラムを隔年でやるスタイルが取れるか議題に出して決定したい。

（結論）「各支部に持ち帰り支部内で議論する」と「栃木県支部手塚副支部長を中心に有志で支部の垣根を越えて検討し、経過をメーリングリストに発表していく」の両面を進めていく。

～次回関東ブロック協議会の開催地について～

来年、2020年度は日本野鳥の会神奈川支部が開催担当団体であることを確認した。

（自然保護室／菅野良一）

#### ■2019年度九州・沖縄ブロック協議会報告

【開催日】：2020年2月1日

【開催場所】：久留米市市民活動サポートセンター

【参加連携団体】：北九州支部、福岡支部、筑豊支部、筑後支部、佐賀県支部、熊本県支部、大分県支部、宮崎県支部、長崎県支部、鹿児島、西表支部、財団事務局

財団事務局の上原理事より、財団からの挨拶のなかで、九州沖縄ブロック内の支部の状況について報告が

あり、共有がされた。

ブロック協議会事務局より、2019年度決算の報告が行われた。また、会計年度の開始月について、議論があったが当面、現状のままとすることとなった。

宮崎県支部より 2019年度のブロック大会の報告として、参加者 106名で盛会であったことやサシバの渡りも観察できた旨が報告された。

2020年度のブロック大会は、福岡支部が担当で、4月11～12日 海の中道青少年の家にて開催予定との案内があった。

各連携団体より今年度の活動報告が行われ、探鳥会の内容、独自で取り組んでいる調査、補助金を活用した事例等が共有された。また、開発問題では、主に風力発電等への対応についての情報が共有された。

(自然保護室/葉山政治)

## ◆事務局からのお知らせなど

### ■普及室より

### ■ワイルドバード・カレンダー2021 写真募集中

当会オリジナルカレンダー「ワイルドバード・カレンダー2021」に掲載する写真を募集しております。応募要項は、当会ホームページで公開中のほか、ご希望の方へは郵送もいたします。応募受付は、2020年3月31日までです。ご応募は、オンラインサイトにて受け付けております。詳細は応募要項をご確認ください。皆様の力作をお待ちしております。

### ●応募要項のホームページ

<https://www.wbsj.org/shopping/goods/original-calendar/>

※会 HP トップページ の「おしらせ」欄、または、[トップページ](#) > [ショッピング](#) > [商品のご案内](#) > [オリジナルカレンダーのページ](#)の、「ワイルドバード・カレンダー2021 写真募集」をご覧ください。

### ●お問い合わせ、応募要項のご請求

普及室 販売出版グループまでお願いします。

TEL : 03-5436-2626 FAX : 03-5436-2636

E-mail : [birdshop@wbsj.org](mailto:birdshop@wbsj.org)

(普及室/大久保明香)

### ■会員室より

■新入会の方に送る「支部のご案内」のご確認をお願いしています。

新たに日本野鳥の会の会員となった方へは、会員証と共に、支部のご案内や会員規程などを掲載した『新入会の手引き』(A4サイズ4ページで構成)をお送りしています。

この中の支部のご案内には、「支部名」、「支部のおもな活動地域」、「支部年会費」、「支部報発行情報」を掲載しており、特に「支部報発行情報」につきましても、支

部にお入りになる会員の方には大切な情報で、度々問い合わせがあります。

このたび『新入会の手引き 2020年度版』を作成のため、送金一覧表に同封して会計担当の方へお送りし、変更がないかご確認をお願いしているものです。変更がありましたら、2020年3月2日(月)までにご連絡くださるようお願いしております。ご参考にお知らせいたします。もし何かお気づきの点がございましたら会員室までご一報ください。

※なお、このリストと同じものを、当会 HP に掲載しています。

<https://www.wbsj.org/join/join-and-changes/personal/kaihi/>

支部	支部のおもな活動地域	支部年会費	支部報発行情報
<b>北海道ブロック</b>			
オホーツク	北見市、網走市、紋別市など	1,500	「ばあどこおる」年12回発行
根室	根室市など	2,000	「フレチカップ」年1～2回発行
釧路	釧路市など	1,000	「ホシハジロ」年4回発行
十勝	十勝地方など	1,500	「十勝野鳥だより」年4回発行
旭川	旭川市、深川市、東川町、上川町、美瑛町など	2,000	「キレンジャク」年1～2回発行 「北方鳥類」 (早稲穂別巻参考資料/年に5～6回、参加者PCアドレス所持者のみ配信または配布)
滝川	滝川市、砂川市など	2,000	「あかもず」年1回発行
道北※	稚内市など	2,500	「オロロン」年4～5回発行
江別	江別市、岩見沢市、三笠市など	1,500	「ふるさとの自然」不定期発行
札幌	札幌市、北広島市、石狩市など	3,000	「カッコウ」年10回発行
小樽	小樽市など	1,500	「あおぼと」休刊中
苫小牧	苫小牧市など	1,500	「あおさぎ」年6回発行
室蘭	登別市、室蘭市、伊達市、洞爺湖町、豊浦町など	2,000	「ハヤブサ」年4回発行
道南檜山	檜山郡、瀬棚郡など	2,000	「はちゃむ」年5～6回発行
<b>東北ブロック</b>			
青森県	青森市、八戸市、十和田市、むつ市、三沢市など	2,000	「白鳥」年4回発行
弘前	弘前市、五所川原市、黒石市つがる市など	2,500	「初列風切」年6回発行
秋田県	秋田県内	2,000	「探鳥あきた」年2回発行、他に季節のたより「群雀」年10回発行
山形県	山形県内	2,300	「やませみ」年2回発行、他に二支部報「ヒメヤマセミ」を発行
宮古	宮古市、釜石市、大船渡市、久慈市、陸前高田市など	2,000	「ミサゴの海」年6～8回発行
もりおか	盛岡市、二戸市、八幡平市など	2,000	「山鶯」年6回発行
北上	北上市、花巻市、一関市、奥州市、遠野市など	1,000	「北上支部報」年1回発行、他にハガキ等を年10～12回送付
宮城県	宮城県内	2,000	「雁」年6回発行
ふくしま	福島市、伊達市など	2,000	「きびたき」年6回発行
郡山	郡山市など	2,000	「かっこう」年4回発行
白河	白河市など	2,000	「ほおじろ」年4回発行
会津	会津若松市、喜多方市など	2,000	「月日星」年2～3回発行
奥会津連合	南会津郡	2,000	「かぼんかぼん」不定期
いわき	いわき市	2,000	「かもめ」年4回発行
福島県相双	相馬市など	2,000	「いそぎ」休刊中
南相馬	南相馬市など	2,500	「ひばり」休刊中
<b>関東ブロック</b>			
茨城県	茨城県内	2,000	「ひばり」年6回発行
栃木県	栃木県内	3,000	「おおるり」年6回発行
群馬	群馬県内(吾妻郡を除く)	2,500	「野の鳥」年6回発行
吾妻	吾妻郡など	1,000	「きくいだき」年1回発行、他にハガキ等を月1回ほど送付
埼玉	埼玉県内	2,000	「しらこぼと」年12回発行
千葉県	千葉県内	3,000	「ほおじろ」年12回発行
東京	東京都内	3,500	「ユリカモメ」年12回発行
奥多摩	青梅市、昭島市、あきる野市、羽村市、奥多摩町など	2,500	「多摩の鳥」年6回発行
神奈川	神奈川県内	3,300	「はばたき」年12回発行
<b>中部ブロック</b>			
新潟県	新潟県内(佐渡市を除く)	2,000	「鳥だより」年4回発行、他に探鳥会案内を年2～3回送付
佐渡	佐渡市	1,000	「いそひよ」年1回発行
富山	富山県内	2,500	「愛鳥」年1回発行、 「愛鳥ニュース」年5回発行
石川	石川県内	2,500	「石川の野鳥」年6回発行
福井県	福井県内	2,000	「つぐみ」年4回ほど発行

(会費の単位:円)

支部	支部のおもな活動地域	支部年会費	支部発行情報
長野	長野市、千曲市、須坂市、中野市、安曇野市、上田市など	2,500	「野鳥ながの」年10回発行
軽井沢	上田市、佐久市、小諸市、東御市、軽井沢町など	2,000	「野鳥軽井沢」年12回発行
諏訪	諏訪市、岡谷市、茅野市、諏訪郡、塩尻市、松本市など	2,000	「いわすずめ」年6回発行
木曽	木曽郡など	1,000	「みやま」年1回発行、他にハガキ等でのお知らせを年4回送付
伊那谷	伊那市、上伊那郡、下伊那郡、飯田市、駒ヶ根市など	2,000	「かわせみ」年2回発行
甲府	甲府市、甲斐市、南アルプス市、笛吹市、北杜市、山梨市など	2,000	「カワセミ」年4回発行
富士山麓	富士吉田市、都留市、大月市、上野原市など	2,000	「野鳥の声」年2回発行
東富士	裾野市、御殿場市、小山町など	2,000	「くろつぐみ」不定期、他に探鳥会案内を不定期送付
沼津	沼津市、三島市、伊豆の国市、熱海市、伊豆市など	2,000	「野鳥だより沼津」年10回発行
南富士	富士市、富士宮市など	2,000	「さえずり」年12回発行、「囀」年1回発行
南伊豆	下田市など	1,200	「みさご便り」(ハガキ)年10回ほど送付
静岡	静岡市、藤枝市、焼津市、島田市、牧之原市など	2,000	「野鳥だより」年10回発行
遠江	浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、菊川市、湖西市、御前崎市、森町など	2,000	「遠江の鳥」年6回発行
愛知県	愛知県内	3,000	「愛知の野鳥」年12回発行
岐阜	岐阜県内	3,000	「濃飛の野鳥」年12回発行
三重	三重県内	2,000	「しろどり」年4回発行
<b>近畿ブロック</b>			
奈良	奈良県内	3,000	「いかる」年4回発行
和歌山	和歌山県内	2,000	「いびつ啓上」年4回発行
滋賀	滋賀県内	2,000	「におのうみ」年4回発行
京都	京都府内	3,000	「そんぐぼすと」年6回発行
大阪	大阪府内	2,500	「むくどり通信」年5回発行
ひょうご	兵庫県内	3,000	「コウノトリ」年6回発行
<b>中国・四国ブロック</b>			
鳥取	鳥取県内	2,000	「銀杏羽」年6回発行
島根	島根県内	2,000	「スペキュラム」年6回発行
岡山	岡山県内	2,000	「野鳥おかやま」年6回発行
広島	広島県内	3,000	「森の新聞」年6回発行
山口	山口県内	2,000	「やまぐち野鳥だより」年6回発行
香川	香川県内	2,400	「かいつぶり」年12回発行
徳島	徳島県内	2,000	「野鳥徳島」年12回発行
高知	高知県内	2,500	「しろべん」年12回発行
愛媛	愛媛県内	2,000	「コマドリ」年6回発行
<b>九州・沖縄ブロック</b>			
北九州	北九州市、中間市など	3,000	「北九州野鳥」年12回発行
福岡	福岡市、春日市、筑紫野市、太宰府市、宗像市、大野城市、福津市など	2,500	「野鳥だより・ふくおか」年12回発行
筑豊	飯塚市、行橋市、直方市、田川市、豊前市、嘉麻市、宮若市など	2,500	「野鳥便り・筑豊」年12回発行
筑後	久留米市、大牟田市、小郡市、筑後市、八女市、みやま市など	2,500	「まめわり」年12回発行
佐賀	佐賀県内	2,000	「野鳥さが」年6回発行
長崎	長崎県内	3,000	「つばさ」年12回発行
熊本	熊本県内	2,500	「野鳥くもと」年11回発行
大分	大分県内	2,000	「たより」年6回発行
宮崎	宮崎県内	2,500	「野鳥だよりみやざき」年4回発行
鹿児島	鹿児島県内	2,000	「りかけす」年4回発行
やんばる	沖縄県内	1,000	「やんばるの森から」休刊中
石垣島	石垣市	2,000	「綾羽(あやばに)」休刊中
西表	竹富町	500	メールで随時配信

●連絡先

会員室 会員グループ  
TEL : 03-5436-2631  
E-mail : gyomu@wbsj.org

FAX : 03-5436-2636

(会員室/佐藤 ゆき乃)

■電信振替(ゆうちょ口座間送金)の料金改定について

2020年4月1日より、ゆうちょ銀行にて、電信振替(ゆうちょ口座間送金)の料金が以下のとおり変更となります。

支部所属会員の名簿やラベル等の代金をお振込みいただく際にATMや、インターネットのゆうちょダイレクトの電信振替(ゆうちょ口座間送金)を利用されている場合にはご注意ください。

●電信振替料金(振替1件につき)

	2020年3月31日まで	2020年4月1日から
ATM	月1回:無料 月2回目以降:125円	ご利用回数にかかわらず 1件につき100円
ゆうちょダイレクト	月5回まで:無料 月6回目以降:115円	月5回まで:無料 月6回目以降:100円

詳しくは、ゆうちょ銀行ホームページのお知らせをご覧ください。

[https://www.jp-bank-japanpost.jp/news/2019/news\\_id001432.html](https://www.jp-bank-japanpost.jp/news/2019/news_id001432.html)

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

※連携団体の会計担当の方へは、同様のお知らせを別途お送りしております。

(会員室/佐藤 ゆき乃)

■「彫刻家・村田勝四郎と日本野鳥の会」が始まりました。

村田勝四郎氏は、当会の現在のシンボルマーク(通称:Bマーク)が制定される2000年まで、親しまれてきたマークのデザインを手がけてくださった方です。また、創設期から創設者・中西悟堂氏との交流が長く、当会の活動を陰で支え、特に財団化では実務者として尽力いただきました。このたび、渋谷区立松濤美術館において、村田勝四郎氏の作品とともに、創設者の中西悟堂や当会との交流も紹介して下さることになりました。なかなか見ることでできない小型版時代の『野鳥』誌や、村田氏の手によるマーク関連の展示もありますので、ぜひ、期間中にお出かけください。(『野鳥』誌2020年1月号36-37頁も併せてご覧ください)

●会場:渋谷区立松濤美術館 2階サロンミューゼ・特別陳列室

(東京都渋谷区松濤2-14-14)

<https://shoto-museum.jp/exhibitions/2019salon/>

●前期:2020年2月12日(水)~24日(月)

後期:2020年2月29日(土)~3月15日(日)

- 休館日：2月17日（月）、3月2日（月）、3月9日（月）
- 入館料無料
- 問い合わせ：☎03-3465-9421
- 特別協力：公益財団法人 日本野鳥の会



▲村田氏がデザインした当会のマーク

当会HPでのご案内

<https://www.wbsj.org/activity/event/muratakatsushiro/>

(会員室／猪沢則子)

## ■会員数

2月3日時点の会員数は34,243人で、先月と比べ31人増加しました。

1月の入会・退会者数（表1）をみますと、入会者数は退会者数より16人多くなっています。入会者数は184人で、前年同月の入会者数143人と比べ41人増加しました。また、退会者数は168人で、前年同月の退会者数167人と比べ1人増加しました。

なお、会員の増減は入会者数と退会者数のほかに、会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活した人数によって決まります。

表1. 1月の入会・退会者数

	入会者数	退会者数
個人特別会員	3 人	13 人
総合会員（おおぞら会員）	38 人	51 人
本部型会員（青い鳥会員）	36 人	24 人
支部型会員（赤い鳥会員）	71 人	42 人
家族会員	36 人	38 人
合計	184 人	168 人
年度累計	1,663 人	※

※会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活する方がいらっしゃるため、退会者数の年度累計は、実際の退会者数とずれた数字となります。

## ■都道府県および支部別会員数

野鳥誌贈呈者数を除いた数を掲載します。

表2. 都道府県別の会員数（2月3日時点）

都道府県	会員数	対前月差
北海道	1,664 人	6 人
青森県	238 人	-4 人
岩手県	369 人	7 人
宮城県	484 人	0 人

秋田県	253 人	1 人
山形県	215 人	0 人
福島県	585 人	-2 人
茨城県	866 人	-1 人
栃木県	728 人	6 人
群馬県	610 人	-1 人
埼玉県	2,065 人	6 人
千葉県	1,540 人	-10 人
東京都	4,744 人	4 人
神奈川県	3,271 人	0 人
新潟県	363 人	0 人
富山県	198 人	0 人
石川県	266 人	-1 人
福井県	221 人	0 人
山梨県	269 人	0 人
長野県	827 人	1 人
岐阜県	453 人	0 人
静岡県	1,283 人	5 人
愛知県	1,483 人	6 人
三重県	419 人	0 人
滋賀県	298 人	-1 人
京都府	810 人	3 人
大阪府	1,998 人	2 人
兵庫県	1,266 人	1 人
奈良県	505 人	0 人
和歌山県	195 人	1 人
鳥取県	202 人	1 人
島根県	174 人	2 人
岡山県	547 人	-1 人
広島県	559 人	1 人
山口県	361 人	-2 人
徳島県	313 人	-2 人
香川県	176 人	-3 人
愛媛県	353 人	4 人
高知県	123 人	0 人
福岡県	1,254 人	-2 人
佐賀県	190 人	0 人
長崎県	206 人	1 人
熊本県	394 人	4 人
大分県	214 人	0 人
宮崎県	243 人	-3 人
鹿児島県	307 人	0 人
沖縄県	101 人	1 人
海外	11 人	0 人
不明	29 人	1 人
全国	34,243 人	31 人

備考：不明は転居先が不明の会員を示します。

表3. 支部別の会員数（2月3日時点）

支部	会員数	対前月差
オホーツク支部	255 人	0 人
根室支部	84 人	2 人
釧路支部	150 人	0 人
十勝支部	175 人	4 人

旭川支部	78 人	0 人
滝川支部	45 人	0 人
道北支部	25 人	0 人
江別支部	21 人	0 人
札幌支部	296 人	0 人
小樽支部	66 人	0 人
苫小牧支部	160 人	-3 人
室蘭支部	138 人	0 人
道南檜山	63 人	0 人
青森県支部	121 人	-3 人
弘前支部	111 人	0 人
秋田県支部	239 人	1 人
山形県支部	197 人	-1 人
宮古支部	85 人	0 人
もりおか	154 人	2 人
北上支部	101 人	1 人
宮城県支部	456 人	2 人
ふくしま	150 人	0 人
郡山支部	156 人	-1 人
白河支部	37 人	0 人
会津支部	56 人	0 人
奥会津連合	7 人	0 人
いわき支部	105 人	-2 人
福島県相双支部	16 人	0 人
南相馬	14 人	0 人
茨城県	772 人	-1 人
栃木県支部	718 人	11 人
群馬	525 人	-3 人
吾妻	41 人	0 人
埼玉	1,555 人	9 人
千葉県	964 人	-7 人
東京	2,689 人	11 人
奥多摩支部	789 人	-3 人
神奈川支部	2,208 人	-4 人
新潟県	267 人	1 人
佐渡支部	34 人	0 人
富山	177 人	0 人
石川	245 人	-4 人
福井県	213 人	0 人
長野支部	428 人	-3 人
軽井沢支部	157 人	2 人
諏訪支部	224 人	1 人
木曾支部	23 人	0 人
伊那谷支部	72 人	-2 人
甲府支部	178 人	-2 人
富士山麓支部	62 人	0 人
東富士	60 人	0 人
沼津支部	148 人	1 人
南富士支部	249 人	-1 人
南伊豆	40 人	0 人
静岡支部	333 人	2 人
遠江	387 人	3 人
愛知県支部	1,105 人	11 人
岐阜	440 人	0 人
三重	349 人	-1 人
奈良支部	453 人	1 人

和歌山県支部	200 人	0 人
滋賀	291 人	-2 人
京都支部	762 人	-1 人
大阪支部	1,846 人	-1 人
ひょうご	962 人	1 人
鳥取県支部	216 人	1 人
島根県支部	165 人	2 人
岡山県支部	514 人	-1 人
広島県支部	486 人	1 人
山口県支部	331 人	-1 人
香川県支部	138 人	-2 人
徳島県支部	327 人	-2 人
高知支部	107 人	0 人
愛媛	326 人	5 人
北九州支部	284 人	1 人
福岡支部	533 人	-2 人
筑豊支部	244 人	1 人
筑後支部	164 人	1 人
佐賀県支部	238 人	0 人
長崎県支部	193 人	0 人
熊本県支部	384 人	3 人
大分県支部	206 人	-2 人
宮崎県支部	239 人	-3 人
鹿児島	283 人	0 人
やんばる支部	69 人	0 人
石垣島支部	13 人	0 人
西表支部	46 人	0 人
	29,033 人	23 人

備考：支部別の会員数の合計は、都道府県別の会員数の合計と異なります。これは、本部型（青い鳥）会員や支部に所属されていない個人特別会員が支部別の会員数に含まれないためです。

（会員室／厚目葉子）

## ■財団事務局より

### ■新型コロナウイルスに関連した探鳥会等の中止または延期のお願い

日本野鳥の会 連携団体各位

（公財）日本野鳥の会  
理事長 遠藤孝一

日ごろより、日本野鳥の会の活動にご支援いただきありがとうございます。

さて、皆様ご承知のように、新型コロナウイルスの感染が拡大しつつあります。感染の流行を早期に終息させるためには、この1、2週間が極めて重要な時期となります。つきましては、連携団体が主催する探鳥会および室内イベント（以下、探鳥会等）を、3月末まで中止または延期していただきたく、お願い申し上げます。

全国に 34,000 人の会員を持つ日本最大の自然保護団体として、感染拡大防止に努めることが、今は何にもまして重要な責務と考えます。探鳥会等を中止するという事は、とても大きな、そしてつらい決断になりますが、ご理解くださいますように重ねてお願い申し上げます。

## 記

1 中止または延期していただきたい期間  
2020 年 3 月末まで(4 月以降は、状況を見て判断する)

2 中止または延期していただきたい理由

(1) この 1、2 週間で、国内で急速に感染が拡大するかどうかの瀬戸際であり、極めて重要な時期であること

(2) 探鳥会等には、感染した場合重篤な症状になるリスクが高い高齢者、基礎疾患や障害をお持ちの方、子どもなどの参加が多数見込まれること

(3) 探鳥会等では、参加者の連絡先や住所までは把握されておらず、万が一その行事参加者の中に感染者がいた場合、すべての参加者について濃厚接触者として追跡できる十分な名簿が用意できないこと

(4) 探鳥会等の実施にあたって、担当リーダー等が心配や不安を抱いたまま開催することは、リーダー等に大きな精神的な負担を強いることになること

以上

〈この件に関するお問い合わせ先〉

公益財団法人日本野鳥の会 普及室普及教育グループ

mail: [tancho-staff@wbsj.org](mailto:tancho-staff@wbsj.org)

tel: 03-5436-2622 (平日 10~17 時)

支部ネット担当より

寒さの中に「待春」の言葉がふさわしい頃となりました。いつも支部ネット通信をご愛読いただき、ありがとうございます。

今月号は、新型コロナウイルスに関連した探鳥会等の中止または延期のお願いを掲載しております。また、ワイルドバード・カレンダー2021 写真募集のお知らせ、ゆうちょ口座間送金の料金改定についてのご案内、などがございます。どうぞよろしくお願いいたします。

まだまだ寒さが続きますので、体調管理には十分にご留意ください。

■支部ネット通信は支部の代表の方に電子メールでも配信をしています。電子メールでの配信を希望される支部の代表の方は下記メールアドレスまでお気軽にお申し込みください。

日本野鳥の会

## 支部ネット通信

第 191 号

◆発行

公益財団法人日本野鳥の会 2020 年 2 月 28 日

◆担当

総務室 総務グループ

五十嵐真/林山雅子/浦野菜穂子

〒141-0031

東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

TEL : 03-5436-2620

FAX : 03-5436-2635

E-mail : [sibu-net@wbsj.org](mailto:sibu-net@wbsj.org)